

『間質性肺疾患合併新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の 後ろ向き観察研究』 に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『間質性肺疾患合併新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の後ろ向き観察研究』という後ろ向きの調査、研究を行っています。間質性肺疾患合併新型コロナウイルス感染症の臨床的特徴の検討、間質性肺疾患非合併例との比較がこの調査、研究の目的です。

<調査の対象となる患者さま>

2020年4月～2021年10月末までに当院で、入院加療を行なった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の患者様を対象としています。特に、間質性肺疾患を合併した患者様が主たる対象となります。

<調査方法>

患者様のカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

<研究計画等の閲覧>

研究計画書等の閲覧を希望される場合は、下記の研究代表者までご連絡ください。調査、研究の実施、知的財産の保護等に問題のない範囲でお知らせ致します。

<患者さまのプライバシーに関して>

プライバシー・個人情報厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

<試料、情報利用の拒否について>

この研究の対象として試料、情報の利用をお断りになりたい方(ご本人ないし代諾者)はご連絡ください。ただし、調査、研究結果を学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できません。

その他、ご不明な点がございましたら、以下に示す研究代表者までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター 呼吸不全研究部 新井 徹

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査、研究は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会(IRB)における厳重な審査・承認を受けて実施しています。

(当院ホームページに掲載)